~施設様の「声」で進化し続ける~

インターネット宿泊予約システム 予約番

予約番の機能と活用方法 【収益に直結するキャンセル・ノーショウ対策】

1. 施設様の取り組み状況について(P.1)

<u>2. 「繁忙期」の活用事例</u>(P.2~7)

3. 「予約受付後」の活用事例 (P.8~9)

4. 「キャンセル時」の活用事例(P.10)

【その他】施設様からいただいたご質問と回答のご紹介(P.11~13)





support@489ban.net



https://www.489ban.net https://www.cadish.co.jp

2022年4月5日



© 2022 Cadish Inc.

1.施設様の取り組み状況について

施設様の現状



・クレジット(事前)決済により予約の時点で売上を確保でき、キャンセル時にはキャンセル料を自動的に徴収できる。
 ・お客様にキャンセル忘れや、予約内容の認識に違いがあった場合でもチェックイン前に気づくことができる。

上記の取り組み以外にも「繋忙期」「予約受付後」「キャンセル時」の 細かな対策の積み重ねが時間の経過と共に大きな収益の差となります

2.「繁忙期」の活用事例

「繁忙期」の問題点

繁忙期は通常と比べて・・・

- ・予約(キャンセル)の頻度が高い。
- ・価格を高く設定しているため、キャンセルやノーショウによる損失が大きい。
- ・1人が複数の予約を確保し、最終的にキャンセルとなる場合がある。
- ・キャンセル時にキャンセル料の説明や料金徴収など、対応に手間がかかっている。



「予約番」の活用事例

① キャンセル料率が異なる2種類の「キャンセルポリシー」をプランに設定できます。

・繁忙期はキャンセル料が発生する期間を通常よりも早めることで、直前のキャンセルを抑止できます。

②指定日だけに特定の「キャンセルポリシー」や「決済方法」を自動的に適用できます。

・「繁忙期」用のキャンセルポリシーは<u>カレンダーから日付を指定するだけ</u>で簡単に適用できます。

・指定した日の決済方法を「<u>クレジットカード決済必須」にできます。(※)「クレジット決済オプション」のお申し込みが必要です。</u>

③満室の場合に「キャンセル待ち」を受付けできます。

・宿泊を希望するお客様の「キャンセル待ち」を受付けることで<u>満室時の離脱を軽減</u>できます。
 ・施設様が「キャンセル待ちリスト」からお客様を選んで個別に空室を案内できます。



2.「繁忙期」の活用事例①

【機能と活用方法】キャンセル料率が異なる2種類の「キャンセルポリシー」をプランに設定

・キャンセル料の発生を通常よりも早めることで直前のキャンセルを抑止できます



- 設定方法
- 【1】管理画面「料金管理」>「キャンセルポリシー一覧」>「新規作成」>「キャンセル時の注意事項」「キャンセル料率」などを入力し「登録」。
 ※ヘルプページ:「新規作成」「編集」ページ内の「キャンセルポリシー名」欄(緑色の本のアイコンをクリックしてご覧ください)。
 【2】管理画面「料金管理」>「キャンセルポリシー設定」>「通常」や「特定日」のキャンセルポリシーを選択し「設定」。

2.「繁忙期」の活用事例②

【機能と活用方法】指定日だけに特定のキャンセルポリシーや決済方法を自動的に適用する

・日付を指定するだけで簡単に「繁忙期」用のキャンセルポリシーを適用できます



設定方法

管理画面「プラン管理」>「特定日設定」>「特定日カレンダー」で日付を選択し「設定する」。

2.「繁忙期」の活用事例②

【機能と活用方法】指定日だけに特定のキャンセルポリシーや決済方法を自動的に適用する

・指定日のみ「クレジットカード決済必須」で予約を受付けることができます



管理画面「プラン管理」>「特定日設定」>「特定日カレンダー」で日付を選択し「設定する」。

2.「繁忙期」の活用事例③

【機能と活用方法】満室の場合に「キャンセル待ち」を受付ける

・宿泊を希望するお客様の「キャンセル待ち」を受付けることで満室時の離脱を軽減できます



設定方法

管理画面「その他設定」>「変更・キャンセル設定」>「キャンセル待ち」を「受け付ける」 > 「キャンセル待ちの注意事項」を入力。

2.「繁忙期」の活用事例③

【機能と活用方法】満室の場合に「キャンセル待ち」を受付ける

・施設様が「キャンセル待ちリスト」からお客様を選んで個別に空室を案内できます



設定方法

管理画面「予約状況リスト」>「キャンセル待ちリスト」>抽出条件(受付日またはチェックイン希望日)を入力して「表示する」。

3.「予約受付後」の活用事例

予約受付後~宿泊日までの懸念点

予約を受付けた後は、宿泊日までお客様の状況が分からず不安・・・

- ・実際の予約内容とお客様の認識に相違があるかもしれない。
- ・お客様が「予約したこと」「キャンセルすること」を忘れているかもしれない。
- ・予約の変更やキャンセルがある場合に手続きが完了していないかもしれない。



宿泊予定のお客様へメールを段階的に自動送信できます。

- ■(例)自動送信メールで段階的にお客様へ通知する 「ウェルカムメール」を併用した場合は、予約されたお客様へメールが最大2段階で自動的に送信されます。
- ・1回目の「予約後の事前通知メール」では間もなくキャンセル料が発生することを告知し、キャンセル/変更の確認を促すことができます。
- ・2回目の「ウェルカムメール」ではお客様へ感謝の気持ちや宿泊時の注意事項を伝えると共に、再度予約内容の確認を促すことができます。





3.「予約受付後」の活用事例

【機能と活用方法】宿泊予定のお客様へメールを段階的に自動送信

・間もなくキャンセル料が発生することを告知し、キャンセル/変更の確認を促すことができます



管理画面「その他設定」>「自動送信メール」 >「予約後の事前通知メール」 >「送信」で「送信する」を選択して「変更する」。

4.「キャンセル時」の活用事例

【機能と活用方法】キャンセル時に「キャンセル理由」の入力を促す

・「キャンセル理由」を収集して施設様のキャンセル対策に活用できます



【その他】施設様からいただいたご質問と回答のご紹介①

施設様からお問い合わせが多い質問にQ&A形式で回答します。

Q 管理者がキャンセルする場合に、キャンセル料を変更したいのですが可能ですか?		
A	」 J能です。予約の詳細情報を確認するページでキャンセル料を(最大)4つの中から1つ指定できます。 予約情報	
	予約のキャンセル	 通知メールを送信する キャンセル料: 登録しているキャンセル料にしたがう(8,000円) キャンセル料: 3登録しているキャンセル料にしたがう(8,000円) キャンセル料: 0円 キャンセル料: 17,600円
	予約の変更	キャンセル科:キャンセル科を指定する
	※プランに「キャンセルポリシー」を設定していない場合は「キャンセル料:登録しているキャンセル料にしたがう」の選択項目は表示されません。	
	※クレジット決済オプション「JTB Book&Pay」をご利用の場合は以下のように表示されます。 「JTB Book&Pay」管理者専用ページではキャンセル料(取消料)を変更できます。	
	予約情報	
	予約のキャンセル	この予約のキャンセルはJTB Book & Payの管理画面よりおこなってください。 JTB Book&Pay管理画面
	予約の変更	お客板情報を変更する
【設定箇所】管理画面「予約状況リスト」>「予約検索」または「予約状況リスト」で条件を指定 >「表示する」>「詳細」		



【その他】施設様からいただいたご質問と回答のご紹介②



【その他】施設様からいただいたご質問と回答のご紹介③

キャンセル料の請求時に「予約完了のメールが届かないため、予約できていないと思っていた」という理由で Q お客様とトラブルになるケースがあります。対応方法はありますか? 対応方法を3つご紹介します。 A 1. 予約画面の「メールアドレス|入力欄に「予約完了のメールが届かなかった場合の注釈」を記載する。 メールが「届かない場合がある」ことや「届かなかった場合の対応方法」などを自由に伝えることができます。 (記載例) メールの受信制限などにより予約完了を通知するメールが届かない場合でも、予約完了画面が表示されていれば予約は成立しております。 ご不明な場合は予約完了画面から(メールアドレスと画面に表示された予約番号で)予約状況をご確認ください。 【設定箇所】管理画面「その他設定| >「予約画面設定| >「メールアドレスの注釈| 2. 「予約が完了していること」をお客様に確認していただく。 予約完了画面:予約完了画面では予約内容を確認できるページへのリンクや、予約完了の通知メールを再送できる機能があります。 ※既に画面を閉じており、お客様が確認できない場合は「予約の確認・変更・キャンセル」画面のリンクと予約番号をお伝えください。 「予約の確認・変更・キャンセル」画面のリンクは管理画面「トップページ」>「リンクアドレス」で確認できます。 ・公式ホームページ:ホームページに「予約の確認・変更・キャンセル」画面のリンクを掲載することでホームページからも確認できます。 ・管理画面:「予約状況リスト」からお客様を抽出し「詳細」ページから予約完了の通知メールを再送信できます。 3. クレジット決済オプションを利用する。(オプションのお申し込みが必要です。) ※予約の成立と同時に宿泊料金を引き落とすことができる(事前決済)ほか、キャンセル料も自動的に徴収できます。



株式会社キャディッシュ

フリーダイヤル 0120-489-468



メール support@489ban.net



https://www.489ban.net https://www.cadish.co.jp

